

● 令和6年度 講演会 第2回 『腎臓疾患』 ●

講師：県立広島病院 小児腎臓科 郷田 聡 先生

実施日時：令和6年9月5日（木）14：00～16：10

会場：ハイブリッド開催（ZOOM使用）（西部東保健所・難病対策センター）

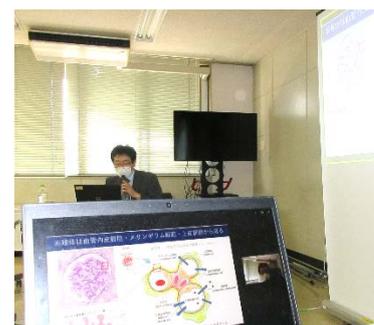
対象者：腎臓疾患の子どもの家族、支援関係者、関心のある方

参加者：家族5名、本人1名、養護教諭9名、看護師3名、保育士2名、
保健師2名、医師1名、助産師1名、その他4名（計28名）

担当：西部東保健所

● 講演内容

- ① 腎臓の構造と働き
- ② 腎臓の病気にはどんなものがある？
- ③ 学校検尿・3歳児検尿
- ④ 慢性腎臓病
- ⑤ 腎代替療法について



● アンケート結果より

＜参加された方の感想＞

「資料が図も多く見やすく理解しやすかった。また疾患ごとの病態や治療が聞けて有益だった」

「3歳児検尿・保育所での検尿の大切さが分かりました」

「先生の話がとても分かりやすかったです」

「今後も子どもの疾患の講演会に参加したいと思います。分かりやすくとても参考になりました」

「先生がとても分かりやすく説明してくださり、細かく知れて気持ちが楽になりました」

● 担当者より一言

今年度2回目の講演会となりました。腎臓の病態生理や疾患などに関してイラストや写真を取り入れた大変分かりやすい説明や、意外と知られていない学校検尿の功績についてもお話頂け、ご参加の方々に満足いただける講演となりました。ハイブリッド方式で行い、後半の現地での交流会にはご家族と養護教諭の方にご参加頂きました。少人数での交流会となったこともあり、話しやすい雰囲気講師から丁寧にたくさんの質問にもお答えいただけました。オンライン開催は気軽に遠方からも参加出来ますが、やはり対面で話すと話が膨らんで皆様から貴重なお話を聞く機会を得られます。対面とオンライン両方のメリットを兼ね備えたハイブリッド方式ですが、可能な場合は現地に参加されることを勧めたいと感じました。